

観光塾 2023 オプション モニターツアー

弟子屈町の魅力は、温泉との多様な関わり方。訪れるならぜひ知ってほしいこの町の味わい方を、資源、歴史的背景を交えながらご紹介するツアーです。弟子屈町のことや自分の地域のことを深掘りしたくなる、きっかけの一步としてぜひご参加ください。

参加費無料（事前申込が必要です）

A 川湯コース 日時 11/17(金) 13:00～15:30 『開発の足跡が伝える弟子屈の変遷』巡り 定員 10名

弟子屈町を語る上で欠かせない「地熱」という資源の存在。それを五感で感じられる川湯エリアを舞台に、開発と自然の保全、どちらかだけでは成り立っていないこの町の変遷に触れるツアーです。川湯の個性・強酸性のお湯などを使ったプチ化学実験コーナーもあります！

行程

川湯ビジターセンター ▶ 川湯園地 ▶ アトサヌプリ ▶ 青葉トンネル ▶ 硫黄山 MOKMOK ベース ▶ 解散

※原則、自家用車での移動となります。

日没後にめぐる

B 市街地コース 日時 11/17(金) 16:30～17:30 『湯気が伝える弟子屈の地理的ポテンシャル』散策 定員 10名

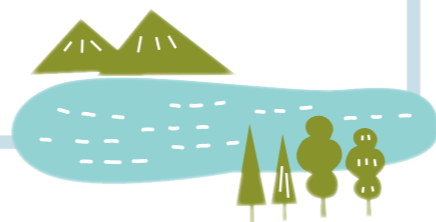
弟子屈町の「浸かるだけではない温泉活用」は、実は道内でもかなり先進的！気温が下がると姿を現すそのポテンシャルを目の当たりにしながら、この町を語る上で外せないスポットを探策します。

行程

弟子屈町役場 ▶ 市街地

※徒歩移動

案内人 嶋 裕香（弟子屈町地域おこし協力隊）



てしかが観光塾 特設ページ
<https://www.masyuko.or.jp/news/information/kankojuku2023>

応募締切: 令和5年11月6日(月)

お申込み
お問合せ

事務局: 弟子屈町役場 観光商工課内

てしかがえこまち推進協議会

☎ 015-482-2940 平日 9:00-17:00

〒088 3292

北海道川上郡弟子屈町中央 2 丁目 3-1 弟子屈町役場

FAX 015-482-5669 ecomachi@masyuko.or.jp

主催: てしかがえこまち推進協議会

(構成団体: 弟子屈町・弟子屈町教育委員会・弟子屈町商工会・摩周湖農業協同組合・(一社)摩周湖観光協会・(株)弟子屈町振興公社・てしかが郷土研究会・弟子屈町自治会連合会)

令和5年度

てしかが観光塾

地域の価値ってなんだろう？

テーマ

高付加価値化と 地域を考える

北海道弟子屈から、観光の未来を拓く！

11 / 18 ± 19 日 2023年

11月18日9:00 開講 ▶ 11月19日15:00 閉講

会場 川湯ふるさと館

受講料 ¥10,000 / 学生 ¥5,000

交流会 ¥6,000

- 1日のみ / 交流会のみの参加はできません。
- 弟子屈町民は受講料無料（事前のお申し込みが必要です）



11月18日 土

8:30-8:45 受付
8:45-9:00 開講式

講座
01

9:00-10:10
弟子屈町の取り組みについて

弟子屈町のこれまでの取り組みや、てしかがえこまち推進協議会についてのご紹介。

講座
02

10:20-11:50
高付加価値化と地域を考える

講師 山田 桂一郎 JTIC SWISS 代表
今年の観光塾のテーマである「高付加価値化」が地域へどのような影響を与えるのか、最新の観光動向も踏まえて学びます。

講座
03

13:10-14:20
地域特性の掘り起こしによる高付加価値化と、従業員のアイデアを尊重するホテル経営

講師 相内 学氏 星野リゾート
2026年度に川湯へ進出予定の星野リゾートが目指す高付加価値化や地域との関係構築、地域づくりへの想いとは一。

講座
04

14:30-16:00
てしかがえこまちチャンネル

進行 川上 椋輔 情報部長
登壇 各専門部会長、部会員
てしかがえこまち推進協議会が考える、地域の「高付加価値」とは。他では聞けない、地域目線の貴重なトークセッション。リアルタイムで、塾生の疑問にもお答えします！

講座
05

16:10-17:30
グループディスカッション

進行 山田 桂一郎 JTIC SWISS 代表
1日目を終えて、グループに分かれて、ふりかえりのワークを行います。

18:30-20:30 参加者交流会

地元産の食材を使ったお料理を囲みながら、参加者同士、また地元関係者との交流をお楽しみください。

会場 川湯観光ホテル
川湯ふるさと館から徒歩5分

要申し込み
参加費
¥6,000

11月19日 日

講座
06
9:00-10:30
地域の価値とは何か

講師 藻谷 浩介氏 (株)日本総合研究所
日本や世界のあらゆる地域を知る藻谷氏が考える、地域の高付加価値化とは何か。弟子屈町ならではの強みや、これから私たちが向かうべき方向とは一。

講座
07

10:40-12:10
パネルディスカッション
高付加価値化が地域に与える影響

進行 中西 拓郎氏 (一社)ドット道東
登壇 上村 剛志氏 (株)テシカガタウンラボ
國分 知貴氏 River & Field
相内 学氏 星野リゾート
畠山 明詞氏 すずめ食堂&バル

町内事業者が考える「高付加価値化がもたらす地域への影響」について、事業者として感じていることや、今後すべき事について、各業種の目線でディスカッションします。

講座
08

13:10-14:30
グループディスカッション

進行 生永 絵美子 弟子屈町地域おこし協力隊
2日間で学んだことを、それぞれの地域で活かすためにできることは何か、ディスカッションを通して考えます。

14:30-15:00 閉講式、記念撮影

- 1日目昼食は近隣の飲食店をご利用ください。
- 2日目昼食は、希望者のみ事務局にて手配が可能です。参加申し込みの際、お申し添えください。

てしかが観光塾は「観光を担う人材を育成する」ことを目的に、平成19年より毎年「ひがし北海道」にある弟子屈町で開催しています。今回も、主催であるてしかがえこまち推進協議会のメンバーが、それぞれ持ち寄ったアイデアを基にカリキュラムを組み立てました。町内の方にも、町外の方にも、日々の暮らしやまちづくりのヒントを見つけたり、大切なつながりを生み出すきっかけのひとつになりましたら幸いです。

講師・ファシリテーター



副塾長
山田 桂一郎
Keiichiro Yamada

02
05

てしかが観光塾 副塾長
1965年三重県生まれ。JTIC SWISS代表、国土交通省認定観光カリスマ。
弟子屈町ではまちづくりアドバイザーを務め、H20年のてしかがえこまち推進協議会立ち上げにも関わる。近著に、藻谷氏との共著による『観光立国の正体』ほか。



特別講師
藻谷 浩介氏
Kousuke Motani

06

(株)日本総合研究所調査部 主席研究員、(株)日本投資銀行 地域調査部 特任顧問。
平成合併前の3,200市町村、海外119カ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。著書に『デフレの正体』『里山資本主義』『しなやかな日本列島のつくりかた』『世界まちかど地政学』など。



講師
相内 学氏
Manabu Ainai

03

星野リゾート 北海道統括総支配人。
2006年星野リゾートに入社、経営改善途上だったトマムのマーケティング責任者として奔走し業績回復により再生を果たす。2021年に北海道事業部門責任者として札幌に着任。道内2,000室以上を統括。



ファシリテーター
川上 椋輔
Ryosuke Kawakami

04

宮城県出身。北海道文化放送でアナウンサーとして活動した後、2020年に弟子屈町の地域おこし協力隊に着任。町公式YouTubeチャンネルを活用した情報発信や、移住定住に関する問題にも取り組む。2022年、町内のコミュニティの場として閉業した整骨院を改装し、『弟子屈JIMBA』をOPEN。



ファシリテーター
中西 拓郎氏
Takuro Nakanishi

07

一般社団法人ドット道東 代表理事。
北海道北見市出身。ローカルメディア運営・編集・プロデュースなど幅広く道東を繋ぐ仕事を手掛ける。2019年、北海道の東側・道東地域を拠点に活動するソーシャルベンチャー・一般社団法人ドット道東を設立し、現職。



ファシリテーター
生永 絵美子氏
Emiko Ikinaga

08

弟子屈町地域おこし協力隊。福岡市出身。臨床心理士、公認心理師、ハーバルセラピスト、アロマセラピーアドバイザー。九州大学大学院卒。エンカウンター・グループ等のファシリテーションを中心に学ぶ。病院、乳児院、子育て支援センター等での勤務を経て、2020年に弟子屈町へ移住、現職。

パネリスト



上村 剛志氏
Takeshi Uemura
株式会社テシカガタウンラボ 代表取締役社長

07



畠山 明詞氏
Akishi Hatakeyama
すずめ食堂&バル 店主

07



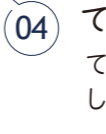
國分 知貴氏
Tomoki Kokubun
River & Field Outdoor Guide/写真家

07



相内 学氏
Manabu Ainai
星野リゾート 北海道統括総支配人

07



てしかがえこまちチャンネル
てしかがえこまち推進協議会の各部会長がパネリストとして登壇します。登壇者は、当日配布の資料よりご確認ください。

04

記載の講義内容・講師については変更となる場合がございますのでご了承ください。

塾長・副塾長・運営

- 塾長：徳永 哲雄 (弟子屈町長)
- 副塾長：山田 桂一郎
- 運営/企画：てしかがえこまち推進協議会